

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577
 例会日 毎週木曜日 12.30~13.30
 事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄
 幹事 大河内 清
 週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋
 阿部正美 秀 義弥

第771回例会

1980. 1. 24 No.24

◎ 本日の出席率 35名中 31名出席 88.57%
 欠席会員 及川(健)会員、若見会員、佐々木(源)会員
 西原会員

○メークアップ 鈴木会員(1・17名取)
 前回の修正出席率 88.57%

◎ ニコニコボックス

○小川会員

1月23日49回の誕生日を迎えられました。

奥様が同じく1月23日46回の誕生日を迎えられました。

○斉藤会員

1月26日66回の誕生日を迎えられました。

○門脇会員

1月25日52回の誕生日を迎えられました。

○小山会員

1月19日55回の誕生日を迎えられました。

○佐藤(文)会員

1月22日長女雅子さんが12回の誕生日を迎えられました。

以上の皆様大変おめでとうございました。

○布施孝之会員

台北西門クラブとの姉妹クラブ締結行事が無事遂行出来ることを念じて。

大変御苦労様です。姉妹クラブ締結及び日台交歓を済ませられ無事帰国されるようお祈り致します。

◎ 会長要件

○ 台北西門クラブの親善訪問も間近になりまして、先日最後の打ち合わせ会を開き布施国際奉仕委員長からいろいろと訪問に伴う心得等につき、お話しを頂き愈々26日出発することになりました。充分にその役割りを果たし御期待に副うように努めたいと思います。

○ 先週行なわれました理事会に於きまして、次年度の委員分担を決定いたしました。会員皆様にはいろいろと御都合もあるとは存じますが、御協力を得まして当クラブの運営に当たって行きたいと存じますので御了承下さい。

尚、その分担につきまして次年度会長からお話しがあります。宜しくお願いたします。

◎ 幹事報告

○ 国際ロータリー第252地区のインターアクトの委員長からアンケートが青少年委員会宛にあります。

○ 1979~1980年度の258地区の年次大会の案内状があります。場所は品川プリンスホテル。

前夜懇親会費 10,000円 登録料 8,000円

参加御希望の方は幹事に申し出て下さい。

◎ 1980~1981年役員並びに委員の分担につき発表致します。(伊藤副会長)

週報No.23号記載のとおり。

◎ 訪台壮行会 布施国際委員長挨拶

いよいよ26日に出発することになりますが、台北西門ロータリークラブと姉妹クラブ締結のプログラム推進責任者として又、訪台団の幹事としての御挨拶と訪台される方々への心得につき申し上げます。17日の打ち合わせの際申し上げましたが、欠席された方も4~5名ありますのでお聞きいただきたいと思います。

先ずその目的でございますが、今更改めて申すまでもございませんが、日台友好、国際親善という大きな目的がございます。先ずこの目的をしっかりと胸に刻みこんでいただきます。実は21日に陳国際委員長と国際電話でお話いたしました。あちらで歓迎準備の都合で聞きたいということで電話を入れたのですが、向こうに着いた際、西門クラブ全員が飛行場迄迎えに出るということでございます。

調印式の前日、28日の夜7時から歓迎のパーティーを開くということです。場所は判りませんが、ホテル迄迎えに行くということです。それから大変残念なことです、当初から計画していました台湾の孤児院を訪問して運動用具を寄贈するというプログラムは先方の社会奉仕委員長がいろいろと実状を調査してくれましたが、西門ロータリークラブ管内には孤児院が実在しないということです。小学校は3校ありますが、全部にあげるというわけにはいかないし、外に社会福祉施設としまして養老院はありますが、

先方の理事会の意向としましては、今回はこの寄贈の件は御辞退申し上げるとのことでございます。6月訪台の際の話とは違いますが、私として考えたのですが、当方の事情を知って頂く為に当クラブの概況報告書を送ったのですが、それにはクラブの予算が出ています。その予算規模を見てあるいは辞退したのでは無いかと考えています。

何せ予算規模は先方が6~7倍も大きいので、当方の予算を見て気の毒に思ったのではないかも思っています。

今回の姉妹クラブ締結は3年間継続するのですが、この3年の間に先方のクラブの意志を尊重しまして、何か有意義な奉仕事業を発見して実行したいと思えます。

今回訪台される方々の心得を申し上げます。

- (1)あくまでもロータリアンとしての品位を汚さないよう行動しましょう。
- (2)服装は公式な場に出る時はスーツを着用し、ネクタイを着け、ロータリーバッジは必ず忘れないこと。
- (3)名刺交換の機会が多いので準備すること。
- (4)パーティーあるいは調印式の際、先方と歓談することになりますが、日本人の癖として日本人同士で集団を組みがちですから、そういうことのないよう堂々と、しなやかに行動する。
- (5)パーティーの際、飲物は招待主が客に対し注ぐのがルールになっていますのでこちらから先に先方の人に注ぐことのないよう注意すること、乾盃の際は呑みほしたグラスを斜めにして底を一寸見せるのが礼儀なそうです。飲まない方は隨意といってお酒を呑まなくても良いが、宴会最後の乾盃は必ず呑みほすのが礼儀なそうです。

尚、当クラブからの御土産としまして皆様と協議した結果、地元の民芸品のようなものがないではないかということで仙台名産の文箱を用意し、会員1人1人にはロータリー用品の中のデスクセットを40個用意しました。

訪台1行の事務分担を申し上げます。

団長~千葉会員	記録~千葉(春)会員
副団長~伊藤副会長	写真~鈴木会員
幹事長~布施孝之委員長	連絡~及川(健)会員
幹事~大河内会員、阿部会員	遊佐(徳)会員

○会長(団長)挨拶

かねてより布施国際奉仕委員長が中心となりまして、台湾西門ロータリークラブとの姉妹クラブ締結の作業が進められていましたが、今回台日友好の記念すべきプログラムが成功して親善訪問に出発することになりました。私が団長を仰せつかり恐縮して居ります。

これを機会に国際奉仕の精神を発揚して、日台間の友好促進の為の民間外交の役割りを果たして参り度いと存じています。ロータリー創立75周年の意義ある年に、この行事に参加出来ますことは国際奉仕委員長始め皆様方の御指導と御配慮の賜ものと深く感謝申し上げます。私以下14名元気に行って参ります。

○壮行の辞 遊佐バスト会長

先ず皆様に御苦勞様と申し上げます。

ロータリーは我々の親善ばかりでなく、国際的にも親善を深めて行くということは、我々がロータリーを結成した当時からの一つのモットーでございます。バナーを交換したり、外国を見てくるということは、ロータリアンに課せられた任務だと思っております。私共もそれに精進して居りましたが、今度は姉妹クラブ締結というこ

とで台湾の方々と団体で交流出来ますことは、喜ばしいことだと思っております。私はロータリーは政治とかイデオロギーを超越して行くのがロータリーの本当の精神だと思えます。

現在の台湾と中国はイデオロギー的には正反対になっております。お互いに敵視しているやに聞いています。私の訪台した時は、蔣總統の時代で、当時は相当陰悪な空気に包まれておまして、今は全くその様なことがないと感じて居ります。又、当時は治安が非常に良かったと記憶しています。日本のように、こそ泥のようなものがない誠に君子の国だとの感じが致しましたが、あるいは私が台湾の表面的なところだけ見た為かも知れません。私はロータリーとしては国際親善、特に近い台湾の方々と結ばれることは非常に喜ばしいことで、その使節として行かれます皆様にはほんとうに御苦勞様と申し上げます。どうぞ一つ日本の良い面を向こうの方に宣伝をし、台湾の持つ良いところも皆さんで吸収して、それぞれ職域に生かして頂ければ非常に幸いです。どうかお身に気を付けられて、良い成果を収められますようお願い致しまして私の壮行の言葉と致します。

○壮行のことは 齊藤バスト会長

先程、千葉会長が話されましたように本年はロータリー創立75周年に当り、各ロータリークラブで一つ行事をするようにとRI会長の切なる要望がロータリーの友に記載されて居ります。丁度それに合致するように今度、台湾西門クラブと姉妹クラブ締結をする事になりましたことは、当佐呂クラブにとり15年に1回の大きな快挙であると考えられます。只今、遊佐バスト会長が申されましたとおり、我々ロータリーが持つ一つの責務と特権でもあります。大いに元気で親善の実を挙げられますよう祈念して壮行の言葉と致します。

○壮行のことは 秀社会奉仕委員長

本来ならば私も今度の壮行には参加の予定で、本日壮行の言葉を受ける側でございましたが、事情がありまして参加できかねることになり、壮行の言葉を申し上げる立場となりましたことは、まことに残念であり、申し訳なく存じております。

古来、壮行の辞というもの、随分と例があるのですが、なかなか一言でピタリと決まっているものは少ないようです。その数少ない例の中で、私が一番好きな壮行の辞は、大平洋戦争はっ発の前夜、山本五十六連合艦隊司令長官が、ハワイ攻撃に向かう機動部隊の出撃の際に言ったといわれている言葉です。それは「征途を祝し、成功を祈る」この短かい一言にすべての意味がこめられていると思えます。私も、この言葉を皆さんに贈って壮行の辞にかえたいと思えます。

なお、私、近頃作歌の勉強をしておりますが、大変お恥かしいものですが、訪台団の成功と無事のお帰りを祈念して二首ご披露させていただきます。

重き責めを 果たさんとして行く友の
今日の門出を 讃え送らむ

ロータリーの 固き契りにせかされて
旅立つ友よ すこやけくあれ